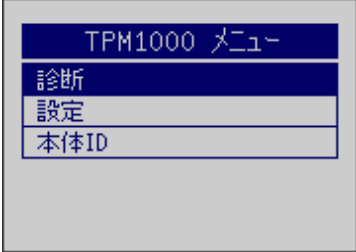

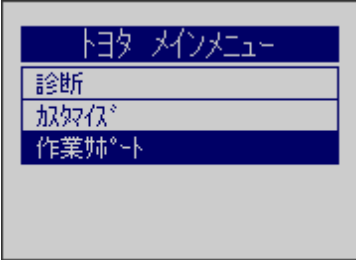

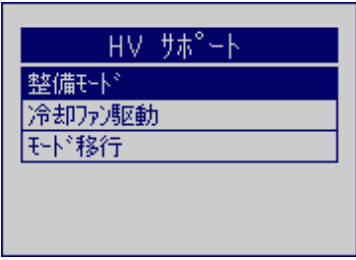
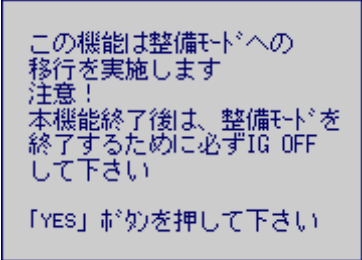
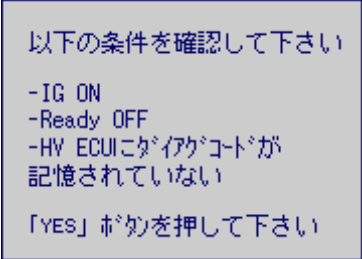
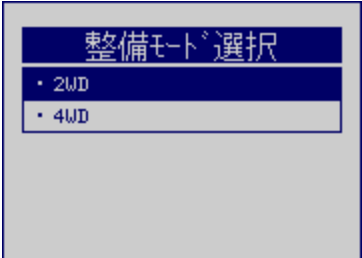
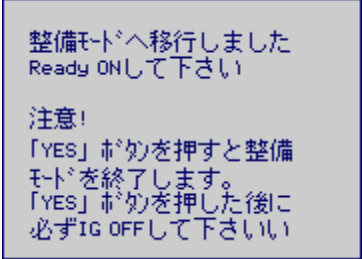





エステイマの整備モード移行方法 (AHR10 型系:2001.6~2003.6)

1.	イグニッションスイッチが OFF であることを確認し、TPM1000 を車両に接続します。
2.	イグニッションスイッチを ON にします。
3.	[診断] を選択します。 
4.	[TOYOTA] を選択します。 
5.	[作業サポート] を選択します。 
6.	[HV] を選択します。 
7.	[整備モード] を選択します。 

8.	注意事項確認後、[YES] ボタンを押します。 
9.	条件確認後、[YES] ボタンを押します。 
10.	[2WD] [4WD] のどちらかを選択し、[YES] ボタンで実行します。  <p>- 2WD モード - Pレンジのエンジンの間欠運転、前後輪の回転差大によるスリップ制御を解除します。 (アイドルCO,HCテスト時/2WD専用シャフト付メーター使用時)</p> <p>- 4WD モード - Pレンジのエンジンの間欠運転を解除します。 (アイドル CO,HC テスト時/フルタイム 4WD 専用マルチスター使用時)</p>
11.	整備モードへ移行が完了しました。 Ready ON でエンジンを始動して下さい。 整備モード中は、この画面のまま保持します。 
	整備モード中は、  (HV システムオニングインジケータランプ) と  (HV バッテリーオニングインジケータランプ) が点滅します。 整備モードを終了する場合は、[YES] ボタンを押

	した後に必ずイグニッションスイッチを OFF にして下さい。
12.	終了するには、[YES] ボタンを押し、[HV 充電] まで戻ります。
13.	[NO] ボタンを押し、[トヨタメニュー] まで戻ります。
14.	イグニッションスイッチを OFF にします。
15.	TPM1000 を車両から外します。